

# 高级日语

主编 吴侃 村木新次郎

# 1



**Whj**  
外教社

上海外语教育出版社

主编 吴侃 村木新次郎

# 高级日语

1



上海外语教育出版社

**图书在版编目(CIP)数据**

高级日语. 1/吴侃,(日)村木新次郎主编. —上

海:上海外语教育出版社,2002

ISBN 7-81080-532-0

I. 高… II. ①吴…②村 III. 日语—高等学校  
—教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2002) 第 050329 号

**主编** 吴侃 村木新次郎

**编者**(以姓氏笔画为序)

|    |                |    |                  |
|----|----------------|----|------------------|
| 中方 | 马安东(浙江大学日语系)   | 日方 | 三木麻由美(日本同志社女子大学) |
|    | 王建民(上海水产大学日语系) |    | 大岛中正(日本同志社女子大学)  |
|    | 叶琳(南京大学日语系)    |    | 今井洋子(日本精华大学)     |
|    | 吴侃(同济大学日语系)    |    | 村木新次郎(日本同志社女子大学) |
|    | 谈建浩(同济大学日语系)   |    | 森下训子(日本同志社女子大学)  |
|    | 徐曙(同济大学日语系)    |    |                  |
|    | 魏铀原(同济大学日语系)   |    |                  |

**出版发行:** 上海外语教育出版社

(上海外国语大学内) 邮编: 200083

电 话: 021-65425300 (总机), 65422031 (发行部)

电子邮箱: bookinfo@sflap.com.cn

网 址: <http://www.sflap.com.cn> <http://www.sflap.com>

**责任编辑:** 应 允

---

**印 刷:** 上海锦佳装璜印刷发展公司

**经 销:** 新华书店上海发行所

**开 本:** 787×960 1/16 印张 15 字数 305 千字

**版 次:** 2002 年 10 月第 1 版 2002 年 10 月第 1 次印刷

**印 数:** 5 000 册

---

**书 号:** ISBN 7-81080-532-0 / H · 200

**定 价:** 17.00 元

本版图书如有印装质量问题,可向本社调换

## 前 言

近年来,全球化的浪潮以前所未有的速度不断推进。同时,我国在历经 20 余年的改革开放,并取得了巨大成就之后,又成功地加入了世贸组织,这无疑是我国进一步融入世界体系的一大跨越。在这一形势下,外语的需求也进入了一个新的时期,全国范围内出现了新一轮外语热。日语也和其他语种一样,迎来了一个新的热潮。

但是,尽管需求极大,适用的日语教材,尤其是高级教材却不多,不少教材存在内容陈旧、讲解不尽准确等问题。同时,有些教材只顾及了语言知识的传授以及语言技能的训练,而忽略了对日本社会、文化的介绍和学习,造成了学习日语的学生不懂日本社会的现象。本教材正是针对这一情况而编写的,除传授语言知识外,还侧重对日本社会、文化的介绍和理解,力争在这一方面有所突破。

本教材是以大学本科日语专业 3、4 年级学生为对象的精读教材。整套教材共 4 册,1—3 册各 12 课,第 4 册 8 课。每课基本由课文、单词、文化·社会、表达、辨析、练习等部分组成。其中“表达(表現)”部分不拘泥于语法体系,涵盖了中国人学日语所需要的各方面内容,并特设专栏,讲解重点。“辨析(使い分け)”栏目主要讲解日语中容易混淆的一些语法现象、单词、句型、读法等。练习部分侧重“高级”阶段所需要的语言训练和文章理解。

本教材由中日双方共同编写。中日双方共同负责搜集课文素材,撰写“辨析”栏目;日方负责撰写“文化·社会”专栏、“表达”专栏,以及最终审稿;中方负责编写生词表、“表达”部分和练习部分。

在迎来新世纪的时刻,在总结以往中国的日语教学经验和教训的基础上,我们推出本教材,愿为使中国的日语教学更上一个新台阶而贡献微力。不足之处,望广大同仁予以批评指正。

本教材所使用的课文的原作者中,下列女士、先生们欣然允诺免费使用其作品,借此

出版的机会,对他们表示由衷的感谢。

梅棹忠夫 水谷修 晖峻淑子 镰田慧 西江雅之 宫冈千里 土屋繁子 木村  
骏 鸟越俊太郎 外山滋比古

本教材为日本国际交流基金的“日语教育项目”,并得到该基金的出版资助,在此表示由衷的感谢。

编 者

2002.5

## 推薦の辞

近代における中国の日本語学習・教育は、清末に始まり、すでに百年の歴史があります。ここ数十年では、日中国交回復と中国の改革・開放政策の実行で、二回の大きなブームが起こり、これから中国のWTO加盟で日中交流がいちだんと盛んになり、更に大きなブームが続くものと思われます。

幸いにも、私は1980年8月から5年間、日本と中国の共同事業としての日本語教師培訓班(通称大平学校)で、さらにその後の半年間、日本学研究センターで、中国の若い先生たちと、日本語を研究したり日本語の教え方を考えたら、また、中国で使う日本語教材「標準日本語」の編集に加わることもできましたが、この教材は現在中国で広く使用されています。私は、現在の中国の日本語教育のレベルは非常に高いものであると思います。

現在、中国における日本語の教材の中で、初級、中級の教材は優れたものがかなりあると思いますが、ハイレベルの上級用の教材はあるでしょうか。私が知っている上級用の教材は、日本の小説や随筆などから無難な部分を抜き出して並べただけのもので、それでは、現在の日本文化や社会事情を十分に理解する役にはあまり立たず、日本語のたしかな力をつける工夫もあまりなされているとは言えないようなものばかりです。現在でもその事状はあまりかわっていないのではないのでしょうか。

此の度、呉侃・村木新次郎両氏の編集による上級日本語を拝見して、私がずっと気にしてきた問題がほとんど解決されたことにほっとしています。日本の現在のいろいろな姿を描き出して、鋭い問題提起をしている「課文」、その課文を読みこなすための親切なガイド「新出単語」、日本の抱える問題点を明確に示す「文化・社会」、日本語の理解と運用の力を確実につけてくれる「表現」と「使い分け」など、実にすばらしいものであり、他の教科書に見られないものです。また、最後には相当に難しい、高いレベルの

「練習」があることも、この教材を使えば高いレベルの学生が養成される保証になっているかと思います。

以上、この教材を、日本語を勉強する皆さん、日本語の先生方に心から推薦致します。

北京語言文化大学名誉教授

西安外国語学院名誉教授

京都外国語大学教授

佐治圭三

## 凡 例

1. 生词按课文中出现的顺序及词形列出。其中汉字的注音放在括号中,课文中未写汉字、或只写出该词的一部分汉字的词,在括号中写出带汉字的全部词。
2. 每个单词都标注重音和词性。仅是名词或词组的省略词性。词性略语见略语表。
3. 单词用双语释义,但有些非常简单,用中文即可一目了然的词,省略日语释义。
4. 表达按照课文中出现的顺序列出。表达条目用假名书写,有汉字的将汉字列在后面。其中,通常使用该汉字的,用实心黑方括号(【】);虽有汉字,但通常不写该汉字的用空心括号(〔 〕)标明。

### 5. 略语表

|       |          |
|-------|----------|
| 〈名〉   | 名词       |
| 〈他五〉  | 五段他动词    |
| 〈他一〉  | 一段他动词    |
| 〈自五〉  | 五段自动词    |
| 〈自一〉  | 一段自动词    |
| 〈他サ〉  | サ变他动词    |
| 〈自サ〉  | サ变自动词    |
| 〈自力〉  | 力变自动词    |
| 〈形〉   | 形容词      |
| 〈形動〉  | だ型形容动词   |
| 〈タルト〉 | タルト型形容动词 |
| 〈副〉   | 副词       |
| 〈接〉   | 接续词      |
| 〈接頭〉  | 接头词,前缀   |
| 〈接尾〉  | 接尾词,后缀   |

\* 「使い分け」中表示“不能用”



# 目 次

## 第一課 世界の中の日本語 ..... 1

新出単語

文化・社会 言霊思想と「国語」意識

表現

ことになる

1. ～において・～における 2. いわゆる 3. ほど 4. ～を～とする

5. ～とは 6. いく 7. とか 8. ～ことになる 9. くる 10. 同士

11. として 12. つつ 13. いわば 14.こそ 15. なる 16. ～による

17. のだ 18. でも 19. という 20. いく 21. ～以上(は)

22. ～難い 23. ～にすぎない 24. とも 25. ～ざるを得ない

使い分け 習う・学ぶ・勉強・学習

～になる・～となる

足す・加える

留意語句

練習

## 第二課 ひとつ屋根の下で ..... 22

新出単語

文化・社会 「独居」と「孤独死」

表現

1. 重ねる 2. ずつ 3. ～付き 4. ほど 5. ゆったり 6. で 7. ては

(では) 8. 思い切って 9. ～て(で)よかった 10. とも 11. いく

12. 楽しむ 13. くる 14. きっかけ 15. 何とか 16. ～がする 17. た

び 18. はず

使い分け ～じん(人)・～にん(人)

勝手・わがまま・気まま

留意語句

## 練習

## 第三課 発話の目的と発話されたことばの形 ..... 37

新出単語

文化・社会 察し

表現

問題

1. た 2. でも 3. ごとく 4. ～う・ようとする 5. 得る 6. わけ  
 7. やすい 8. ～とする 9. ～ともなく～ 10. 当たる 11. よ 12. 運  
 ぶ 13. ～ではないか 14. な 15. まま 16. 何となく 17. ～ほど～  
 ない 18. 限り 19. そのもの

留意語句

練習

## 第四課 日本種々相 ..... 52

一、外食産業

二、時間を奪い取られた生活

新出単語

文化・社会 日本のサラリーマン

表現

1. 同じ 2. まで 3. 身につける 4. と 5. そろう 6. ～て(も)いい  
 ・～で(も)いい 7. ～ように 8. ～ねばならぬ 9. さえ 10. ～させ  
 られる 11. 掛かる 12. ぎりぎり 13. ～には 14. ～ては 15. ～っ  
 ばなし 16. ～につれて

使い分け ぎりぎり・すれすれ

留意語句

練習

## 第五課 黄色い雨ガッパと黒い肌 ..... 68

新出単語

表現

1. 見える 2. すっきり 3. 途端 4. ばかり 5. か 6. のに 7. そうだ  
 8. 小 9. まめ 10. ～風 11. ～切る 12. ～までもなく 13. 掛ける  
 14. ～ことなく

使い分け 大きい・大きな  
 思わず・うっかり・つい

留意語句

練習

## 第六課 何故? と問い、自分で考える ..... 83

新出単語

表現 婉曲表現⊖非断定

1. も 2. ～と思われる・～と考えられる・～と言える 3. ところ
4. 出来る 5. ～か否か～ 6. ～損ねる・～損なう 7. ものの 8. ～
- ような気がする 9. なり〈助動詞〉 10. なり〈接尾語〉 11. ～ば～ほ
- ど 12. ほう 13. 故 14. ながら 15. でも 16. な 17. のみ 18. ば
- かりか 19. もの 20. くらい(ぐらい)

留意語句

練習

## 第七課 当世学生「本離れ」気質 ..... 104

新出単語

文化・社会 日本人の読書量

表現

らしい

1. ～たことがある 2. 通り・～通り 3. もの〈接尾語〉 4. 何しろ
5. 一応 6. ～訳にはいかない 7. 向き 8. 欲しい 9. ～ようとは
10. 結構 11. もの〈形式名詞〉 12. 重なる 13. よほど 14. ぶり
15. 捨てる 16. ～にして見れば 17. くせに 18. やがる 19. せい
20. ことにする

使い分け できない・わけにはいかない  
 かなり・結構・相当・よほど

留意語句

練習

## 第八課 日本人とコミュニケーション ..... 126

——対人恐怖の国民性

新出単語

文化・社会 「うち」と「そと」

「恥」の文化

表現

1. 固まる 2. とのこと 3. 冴える 4. 気 5. 何と 6. むしろ 7. な  
がら 8. ため 9. ざっと 10. なんて 11. は 12. ぎごちない 13. ぐ  
るぐる 14. 取れる 15. ところ 16. 没頭 17. ～とよい

使い分け ほっと・安心

図々しい・厚かましい

留意語句

練習

## 第九課 中流なんかもういない、不平等サービス大繁盛 ..... 148

選別される「勝ち組」「負け組」、拡大する社会的格差

新出単語

文化・社会 中流意識

不登校と学級崩壊

表現

ちょっと

1. ～はもちろん 2. 応じる 3. ～と言えば～ 4. 二重否定 5. 取れ  
る 6. 扱う 7. 向け 8. 乗る 9. 並 10. 乗り出す 11. らしい 12.  
～をもとに 13. ～はともかく(として) 14. 繋がる 15. ～といえど  
も 16. ～てはいられない 17. ばかり 18. ～となれば・～となると  
19. ならぬ 20. 当てる

使い分け 目が見える・目に見える

留意語句

練習

## 第十課 豊かさゆえの病がある ..... 168

新出単語

文化・社会 いわゆる「飽食の時代」

表現

1. ひときわ 2. って 3. 風情 4. 思い切り 5. ～から～にかけて 6.  
～に従い・～に従って 7. くつきり 8. 過ぎる 9. 何とも 10. 思い  
をする 11. ～たところで 12. ～ならまだしも～ 13. ～て・(で)な

らない 14. 恵まれる 15. これといって～ない・これといった～ない  
 16. ～にも拘わらず 17. 盛り 18. さ  
 使い分け ひとしお・ひときわ・一段と  
 膨らむ・膨れる

# 第十一課 天声人語 ..... 188

スーツケース別送

「失敗学」

新出単語

表現

1. 預ける 2. 浮く 3. ～ばよい・～ばよかった 4. はっと 5. まい
6. だって 7. どちらかと言えば 8. ～と引き替えに・と引き換えに
9. ～てばかりいる 10. はらはら 11. 作る 12. 要するに
13. ～では 14. 利く・効く

使い分け 夫婦・夫妻

留意語句

練習

# 第十二課 フェスティナ・レンテ ..... 207

新出単語

表現

1. もの 2. わ 3. らしい 4. みたいだ 5. 折 6. せっかく 7. 知る
8. いくら～ても～ 9. ～かねる・～かねない 10. だけ 11. ～か
- と思ったら 12. に 13. ～て仕方(が)ない 14. に(も) 15. ～気味
16. ～なくて済む・～ずに済む 17. ～て初めて 18. ～にくい
19. どっさり

使い分け せっかく・わざわざ・わざと

～がたい・～にくい・～づらい・～かねる

とく・ほどく・ほぐす

留意語句

練習

---

## 第一課 世界の中の日本語

---

めづ ぼ  
梅棹 忠夫

世界には、現在なお普遍的な世界語というものは、成立していない。英語・フランス語・スペイン語などかなりの程度に広く流通する言語はあるが、その中のどの一つを取っても全世界をおおうものとはなっていない。むしろ、そのほかの諸言語が世界のある地域の共通語、つまりリングア・フランカとして流通しているのが現状である。たとえば、ソ連邦におけるロシア語、中国および東南アジアにおける中国語、とくにいわゆる<sup>ポピュラー</sup>普通話、また東アフリカにおけるスワヒリ語などが、その例である。それらの言語は、ある範囲の地域での共通語としてもちいられている。日本語の現状は、まさに日本語がこの種の部分共通語になりはじめた、ということであろう。東アジア、東南アジア、西太平洋の諸地域において、日本語は共通に意思を通じあうための言語のひとつになりはじめていのである。そういうことが可能になるほど、日本語の学習者が増加し、日本語が普及しはじめていのである。

ここでたいせつなのは、この部分的地域共通語はその言語を母語とする人たちと、その言語を母語としない人たちのあいだの意思疎通の話ではないということである。日本語に即していえば、日本人と中国人、日本人とタイ人、日本人とオーストラリア人とのあいだで、日本語がもちいられるということではない。もちろん、そういう場合もあるであろうが、たいせつなのは、たとえばタイ人とオーストラリア人の会話において、日本語がもちいられるということなのである。国際語とは、そういうことなのだ。

われわれは外国人と話をする場合、おたがいに何語が通じるかを、はじめにさぐりあう。それでタイ人と日本人とのあいだで「英語でいきましょう」とか、日本人とイタリア人とのあいだで「フランス語は、わかります。」とかいうことになる。そこにおこなわれるのは英語国民と非英語国民、フランス語国民と非フランス語国民とのコミュニケーションではない。英語やフランス語は、こういう意味で国際化しているのである。日本語が国際語になってきたというのは、日本語もそういう外国人どうしの会話にもちいられる可能性をもってきた、ということなのである。

このことは、まことに重大な結論をみちびきだすものである。つまり、日本語はもは

や日本民族の私有財産ではなくなってきた、ということである。わたしたちは、日本語を自分たちの私有物として独占することが、できなくなりつつあるのだ。日本語をいわば、他民族の共有物として提供しなければならなくなってきた、ということなのだ。

英語やフランス語などは、とっくのむかしにそうになっている。英語は、イギリス人の独占物ではない。フランス語も同様である。それは、世界のかんりの人たちの共有物である。リングア・フランカとは、そういうことなのである。

おなじことが日本語だけでなく、日本文化のさまざまな要素についてもおこりはじめている。例えば、柔道はもともと日本の固有のスポーツであった。これこそは、日本人の独占物とかがえていた。ところが、ヨーロッパなどで柔道がひろくおこなわれるようになるとともに、オリンピック種目にもくわえられるようになった。なお、はじめのうちは、オリンピックにおいても日本選手の優越は保たれていたが、オランダのヘーシンクの出現によって、独占はやぶれた。柔道は、国際化したのである。

衣食住についても、同様の現象がある。すしはいまや、日本人の独占物ではなくなった。じつにさまざまなバリエーションをうみつつ、アメリカ国内でひじょうな流行をみせている。カリフォルニア一州だけでも、数千軒のすし屋があるという。たべにくるのはもちろん、ほとんどが非日本人である。すしはもはや、日本人の私有財産ではない。

柔道もすしも国際的共有物として、世界の諸文明のあいだを漂流しているうちに、やがてはその起源がどこであったかということさえもが、わすれられる時代がくるかもしれない。文化というものは、そもそもそういうものである。ひとつの文化要素がもとのコンテクストからきりはなされて、ほかの文化のあいだを漂流しつつ、国際性ないしは文化際性を獲得してゆくのである。日本語も、いまそういう漂流の旅の船出の時期にさしかかっているのかもしれない。すくなくとも、いくつかの日本語の語彙は、既にその道をたどりはじめたようにおもわれる。

このことは、つぎにもうひとつの重大な帰結をもたらすであろう。わたしたちは、日本語を自分の私有財産として完全に掌握し、コントロールすることができなくなりつつあるのだ。日本語を母国語としない人たちのあいだでかわされる日本語の会話は、われわれの耳にはときには、極めて異様な言語としてひびくかもしれない。あるいは、外国人のかいた日本語は、われわれの目には、まことに不完全なものとうつるかもしれない。じじつ、わたしたちはそういう実例をたくさん見聞している。日本語のうつくしさを誇りとしてきたわれわれ日本人にとっては、それはいわば「おぞましき日本語」であるかもしれない。

わたしたちはしかし、これからはその「おぞましき日本語」にたえなければならない

のだ。もはや私有財産としての独占権を、主張することができなくなった以上は、そのような外国人のつかう奇妙な日本語に寛容でなければならない。ふつうでない表現、奇妙な用語法に対して、こちら側が理解する努力をしなければならないのである。それをいちいち厳密に訂正し、日本人の用例に一致させる努力はもちろん必要であろうが、どこまで成功するであろうか。ある程度のところで妥協しなければならないだろう。国際化とは、そういうことなのである。日本語の伝統を厳密に保持しようとする人たちには、あるいはたえがたいことかもしれないが、どこかであきらめなければならないだろう。

日本人は国語問題については、戦前から度々の激しい論争を経験してきた。しかし、この日本語の国際化という現実、国語問題に従来見られなかった、新しい観点をもたらすものとなるであろう。従来は国語問題は日本文化の問題であり、純粋に国内問題であるという観点からすべてが論じられてきたのであるが、日本語の国際化という事実を前にして、日本語の国語問題は再検討されなければならないであろう。

日本では「国語」という意識が、極めて強い。国語と外国語の対比において、国語は絶対化されているのである。しかし、その意識は英語・中国語・スペイン語などと並ぶ日本語というところまで、相対化されなければならないだろう。日本語は唯一無二の国語ではなく、多数ある言語の一つにすぎないという意識である。しかし、この意識の相対化は、なかなかむづかしいかもしれない。この種の相対主義は確かに国際的で、開明的で、進歩的である。しかし、日本語にはまるで逆な精神が現実には存在する。「国語の精髓」を守り抜こうという、絶対主義的思想の持ち主がなお少なくないのである。日本は「言霊のさきはう国」であり、「随神の道」が生きている国だからである。国内において、このような対立する思想の和解とコンセンサスを、どのように作り上げてゆくか。それが問題である。

国際化によって、日本語は多少とも変わらざるを得ないであろう。その純粋性を保持し続けることは、恐らくはむづかしいであろう。既に明治以来、日本語は大きく変容を遂げてきた。語彙は豊富になったけれど、語法や表現はむしろ簡素化され、法則化が進んだと言える。日本語が国際化することによって、その傾向はいつそう進むであろう。逆に言うと、日本語の国際化は、日本語の近代化に大きな契機をもたらすことになるかもしれない。日本語の変革のエネルギーを、そのような外からの力に期待することは、間違いであろうか。



## 新出単語

なお[猶・尚]①<副>

1) 以前の状態が途切れずに続いている様子。/ 还, 仍然, 尚。2) 以前の状態やほかのものと比べて、程度が一段と増している様子。/ 更, 更加。

スペイン語[ご]①

西班牙语。

おおう[覆う]②③<他五>

1) ある物・場所に他の物をかけて、雨・ほこり・人目からさえぎったり守ったりする。/ 遮盖, 掩盖。2) 広く全体に行き渡る。/ 覆盖。

むしろ[寧ろ]①<副>

あえて選択の決断を指定するなら。/ 宁可, 莫如, 与其说……倒不如……; 不是……而是……。

諸[しょ]<接頭>

诸, 各种。

地域[ちいき]①

ある限定された土地の範囲、また、区画された土地。/ 地域, 区域, 地区。

共通語[きょうつうご]①

1) 全国のどこでも通用する言語。/ 共同语, 普通话。2) 異なる言語を用いる人々の間で通用する言語。/ 通用语, 共同语言。

つまり①<副>

1) 言い換えれば。/ 也就是说, 就是说, 即。2) 最重要な点を簡潔に述べれば。要するに。/ 总之, 说到底, 归根结底。

リングア・フランカ⑥

異なる言語を使う者の間で意思疎通のために用いられる第三の言語。仲介語。共通語。/ 通用语, 中介语言, 共同语言。

ソ連邦[れんぽう]②

苏联。

スワヒリ語[ご]①

斯瓦希利语。

まさに[正に]①<副>

疑いない様子。間違いなく。確かに。/ 的确, 恰好, 正好。

種[しゅ]①

种, 种类。

意思[いし]①

あることをしよう、またはするまいとする思い・考え。はっきりした意向。/ 想法, 打算, 意向。

疎通[そつう]①<名・自サ>

意思・意見などがよく理解されて、支障なく相手に通じること。/ 沟通, 理解。

即する[そく]③<自サ>

考えや行為が、状況や事態にぴったり合う。/ 按照, 根据, 适应。